

高橋養鶏賞について

養鶏業振興の一助とするため、養鶏業界の向上発展に顕著な業績をあげた者に贈られる賞です。

生涯を養鶏にかけた先覚者である高橋廣治氏が、1975年に養鶏の向上発展に寄与し顕著な業績をあげた者を表彰する目的で設立した財団法人高橋養鶏賞財団が褒賞してきましたが、畜産団体の統合により、現在では愛知県畜産協会が表彰を実施しています。

高橋廣治氏について

1922年に愛知県立農事試験場を退職し、愛知県家さん株式会社の顧問に迎えられ、その後、現在の大府市に日本家さん研究所を開設し、養鶏に関する研究に加え、産卵競進会や長期養鶏講習会を開催するなど、養鶏の技術の普及に全力を捧げた。

1955年には、アメリカの養鶏を視察し、ケージ養鶏法を日本に紹介する傍ら、屋外に杭を打ち、その上にケージを並べる青空養鶏を提唱し、その普及に努めた。

養鶏の研究と普及、後進の指導に捧げ、農業の近代化に尽くしてきたこれまでの業績が認められ、黄綬褒章及び勲四等瑞宝章が授与された。

1975年には、養鶏の向上発展に寄与し顕著な業績をあげた者を表彰する目的で「高橋養鶏賞財団」を設立し、今日まで毎年養鶏功労賞の表彰が続けられている。

その生涯を養鶏に捧げた高橋廣治氏は、1979年に94歳でこの世を去った。